

# [生涯学習]課 経営計画書（総括表）

## ■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H25 年度計画額（単位：千円）		H25 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	家庭教育推進事業	B	1,277	325	0.4	0.2
2	生涯学習活動推進事業	B	17,108	429	0.6	0.2
3	生涯学習講座事業	B	1,629	57	0.6	0.2
4	中央公民館管理事業	B	69,763	5,691	0.7	0.2
5	町民会館管理事業	B	27,279	2,859	0.3	
6	社会体育振興事業	B	11,314	408	0.6	0.2
7	温水プール管理事業	B	46,180	148	0.3	
8	グラウンド等管理事業	B	51,314	2,375	0.3	
9	野外活動施設管理事業	B	4,629	1	0.2	
合 計			230,493	12,293	4.0	1.0

## ■特記事項

平成25年度中に中央公民館の耐震補強工事の実施設計書を作成し平成26年度に工事を実施する。  
また、耐震補強工事に併せて施設の一部更新、改修等も実施する。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	01
事業名	家庭教育推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(2)	一人ひとりが尊重される社会・地域ぐるみの子育て環境の実現
目的	将来を担う子どもたちの健全育成のため、学校・家庭・地域が連携し、すべての教育の基である家庭教育を充実・発展させること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育講座</li> <li>※小学生以上を対象にした講座や親子を対象にした自然体験教室等を開催する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子ふれあいファミリーフェスタ</li> <li>※ふれあいまつりで小、中学校PTAと協働契約により開催する。</li> </ul>
現在における経過又は課題	講座や体験教室に同じ受講者が参加するなど、新たな参加者が増加していかない。他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している傾向がみられる。		
平成25年度の目標又は改善策	事業が重複しないよう、他の部局と連携を密にするようにする。アンケート調査等で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、事業の展開を図る。		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（5月～8月）
7	日間賀島親子自然体験教室開催及びアンケート調査
10	後期家庭教育講座の受付及び事業展開、アンケート調査（11月～2月）

## □3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	1,370	1,397	1,277
(内特定財源)		千円	345	325	325
人工	職員	人工	1.1	0.4	0.4
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	1.3	0.6	0.6

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
家庭教育活動参加者負担金	325	
合計	325	

## ■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

なし

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

実施する講座や体験教室に参加する方が固定化してしまう傾向があるため、広く、多くの方が参加しやすいような周知方法や内容について検討し実施した。

他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している内容について、再度確認し、事業の効率的な実施について検討した。

## ■ 評価

毎回の事業実施ごとに実施するアンケート結果等を活用しつつ、周知方法や事業内容について毎回検討を重ねているところであり、参加者からは概ね好評価を得ている。今後も参加者があまり固定化していかないように更なる工夫を凝らしていく。

他の部局との連携については、事務局間の執務上の場所的・時間的な隔たりもあり、連携・調整の進みが遅れている。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	02
事業名	生涯学習活動推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	人々が自らの意思で、生涯学習活動を進めることにより、大口町生涯学習基本構想に基づく「生涯学習のまちづくり」を目指すこと。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興（芸能文化事業）</li> <li>・学校支援地域本部事業</li> <li>・文化協会支援</li> <li>・成人の集い実行委員会支援</li> <li>・リフレッシュリゾート施設利用助成</li> <li>・生涯学習のまちづくり事業委託</li> </ul>		
現在における 経過又は課題	<p>大口町文化協会は、会員の高齢化が進んでいるが、協会の独り立ちが期待されている。学校支援地域本部事業のより一層の事業拡大。</p> <p>リフレッシュリゾート助成事業の検討</p>		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<p>文化協会の独り立ちができるよう、協会内で事務員の確保を目指す。現実的には困難である。24年度中に一部の事務を大口町NPO登録団体に委託することができたので、今年度は、委託内容をさらに拡大し協会を独立した組織へと進める。</p> <p>学校支援地域本部事業が一層拡大するよう、あらゆる方面への事業のPRを実施。事業の実施内容及び実施主体の再検討と調整。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	大口町文化協会補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月） 生涯学習のまちづくり事業委託契約
6	町NPO団体と協働委託契約を締結 芸能文化事業の展開（6月～2月） ・ほほえみコンサート、なんでもマラソンコンサート、おおぐち合唱祭、ダンス&ミュージック
7	大人の集い実行委員会立ち上げ 事業の展開（8月～1月）
1	大人の集い開催 リフレッシュリゾート施設利用申請受付、利用券交付（4月～3月）

## □3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	.
H27 年度	.

## ■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	16,282	16,291	17,108
(内特定財源)		千円	696	706	429
人工	職員	人工	1.1	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.3	0.2	0.2
	計	人工	1.4	0.8	0.8

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
特別教室開放施設使用料	55	
学校支援地域本部事業費補助金(国費)	187	
学校支援地域本部事業費補助金(県費)	187	
合計	429	

## ■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

なし



## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

大口町文化協会の独り立ちについては、協会内での事務局員の確保が最重要課題であるが、それにこだわることなく、まずは協会事務の一部について外部団体へ委託することで協会独立の第一歩としたが、今年度はさらに委託内容を拡大し、協会独立の足掛かりとした。

学校支援地域本部事業については、ボランティア登録数もますます多くなり一定の広がりを見せつつあるが、より一層の事業拡大のための事業PR活動に努めた。

## ■ 評価

文化協会の独立に向けた足掛かりとして、協会事務の一部をまちづくり団体へ事務委託したことにより、文化協会とまちづくり団体との大きな連携が生み出され、さらに行政に頼る姿勢の改善もみられ、今後の文化協会独立への大きな第一歩となった。

学校支援地域本部事業が国からの大きな評価をもらうなど、その活動については評価が得られている。また、多くの参加者からこの活動が自らの生きがいつくりの場として活用されているとの声が寄せられ、この事業の大きな成果となっている。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	3
事業名	生涯学習講座事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民一人ひとりが、変化の多い社会の中で「明るく、楽しく、豊かに」生きることを願い、様々な分野の各種講座を開設しながら、個々の教養や技術を習得すること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期講座</li> </ul> ※前期、後期に分け、主に教養を深めることや趣味の拡大を目的に1講座6回程度開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旬の講座</li> </ul> ※その季節にあわせて1講座1回から3回程度開催する。	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が求める講座や教室は、多種多様になってきており、講座や教室の内容の選定に苦慮している。多くの参加を見込める講座等を企画する必要がある。他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している傾向がみられる。</li> </ul>		
平成25年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査で得た情報を基に、更に住民ニーズを吟味し、新たな講座等を企画していく。事業が重複しないよう、他の部局と連携を密にするようにする。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	前期生涯学習講座の受付及び事業展開（5月～8月）
10	後期生涯学習講座の受付及び事業展開（11月～2月）
	* 事業の展開と共に、新たな講座等を企画していく。

## □3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	.
	.
H27 年度	.
	.

## ■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	1,212	1,589	1,629
(内特定財源)		千円	158	200	57
人工	職員	人工	0.9	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	1.1	0.8	0.8

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
社会教育講座受講料	57	
合計	57	

## ■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

## ■特記事項

なし

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

受講者へのアンケートや多方面での聞き取り、民間業者により各所で実施されている講座の情報収集、他市町村で実施されている講座の状況や内容、近隣大学で実施されるオープンカレッジ等の内容把握等により多種多様な住民の学習要求に応えられるよう、常に準備に努めている。また、他の部局と同様の事業があるなど事業が重複している内容について、再度確認し、事業の効率的な実施について検討する。

## ■ 評価

「生涯学習基本構想」の基本的目標キーワードである「学びを創る」「学びに集う」「学びをつなぐ」という考え方により、特に講座については「誰でも、いつでも、気軽に学べる」を基本として、講座内容の選定を行っており、今後の人材育成や生きがいがいづくりにつながっているものと考えている。教育委員会以外の部署や町登録NPO団体等が実施している講座や教室との実施時期や内容の調整については、事務局間の執務上の場所的・時間的な隔たりもあり、連携・調整の進みが遅れている。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	4
事業名	生涯学習施設管理事業（文化施設）		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、教養や技術を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
事務内容	・ 施設の利用者対応 ・ 設備の維持管理 ※外注分は協議・契約・履行確認		・ 支払処理 ・ 消耗品等の補充 ・ 除草等清掃作業
現在における 経過又は課題	開館からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。 平成7年度に実施した耐震診断において「疑問あり」と診断されていることについて、耐震補強工事等を実施し、耐震化を図らなければならないと考えている。平成24年度に耐震診断及び基本設計を作成。		
平成25年度の 目標又は 改善策	修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。 耐震化については、平成24年度に実施した耐震診断及び基本設計に基づき、平成25年度中において、耐震補強工事の補強等実施設計を作成し、平成26年度以降に工事を実施することとしたい。		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
6	耐震補強工事実施設計の入札
H26 3	耐震補強工事実施設計作成完了  * 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。

## □3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	.
H27 年度	.

## ■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	59,618	62,401	69,763
(内特定財源)		千円	4,453	3,594	5,691
人工	職員	人工	0.9	0.9	0.7
	臨時職員	人工	0.3	0.3	0.2
	計	人工	1.2	1.2	0.9

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	94	
中央公民館使用料	2,843	
施設利用負担金	354	
社会資本整備総合交付金	2,400	
合計	5,691	

## ■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
中央公民館耐震補強工事設計(13設計監理等委託料)	10,500	△10,500	耐震補強工事基本設計書作成委託
中央公民館耐震補強工事設計(13設計監理等委託料)	12,000	12,000	耐震補強工事実施設計書作成委託
		1,500	

## ■特記事項

平成24年度中に耐震診断及び補強工事の基本設計が作成されたので、平成25年度において耐震補強改修工事の実施設計を作成し、平成26年度以降の工事着手を目指す。



## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

開館からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

耐震補強工事を実施し、耐震化を図らなければならないことについて、平成24年度中に耐震診断及び耐震補強についての基本設計を作成した。これを基に平成25年度中に耐震補強工事及びそれに合わせて実施する改修工事の実施設計書を作成した。平成26年度以降耐震補強工事を実施していく。

## ■ 評価

耐震化については、平成24年度中において、耐震補強工事の補強等基本設計を作成した。平成25年度中に実施設計書が出来上がったので、平成26年度より工事を実施することで中央公民館の避難所施設としての位置づけが可能となる。国からの補助金を活用することで、町の費用負担も抑えつつ施設のさらなる有効活用が図られるものと期待している。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No. 5
事業名	町民会館管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適に学習できるよう、施設を整備し、教養や技術を習得すると共に「明るく、楽しく、豊かに」生きることの一助とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用者対応</li> <li>・設備の維持管理</li> </ul> ※外注分は協議・契約・履行確認		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支払処理</li> <li>・消耗品等の補充</li> <li>・除草等清掃作業</li> </ul>
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館からすでに20年以上経過しており、施設が老朽化してきた。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分もいくつか存在しはじめている。</li> <li>・ステージ照明用調光操作卓がメーカーの部品供給終了により、今後修繕不能な状態となっている。施設の運用も含めた調光卓の更新の是非を検討した結果を踏まえ、調光操作卓の更新を実施しなければならない。</li> </ul>		
平成25年度の 目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応していく。</li> <li>・施設の運用も総合的に勘案し調光操作卓の更新または改修について方向づけた結果を踏まえ調光操作卓の更新を実施する。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。
4	調光卓の更新の契約締結
5	調光卓の更新工事の実施
<p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>	

## □3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	.
H27 年度	.

## ■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	18,495	19,318	27,279
(内特定財源)		千円	2,891	3,196	2,859
人工	職員	人工	0.9	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.3	0.0	0.0
	計	人工	1.2	0.3	0.3

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	1	
町民会館使用料	1,898	
施設利用負担金	960	
合計	2,859	

## ■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
町民会館設備改修工事費(15工事請負費)	7,500	7,500	2階ホール調光卓の更新工事

## ■特記事項

平成2年の竣工時に設置された2階ホールの調光操作卓の部品がメーカーの生産終了により供給されなくなった。これにより現在故障中の調光操作卓の根本的修繕が不可能となっている。ホールの本来の調光機能を回復するためには調光操作卓を更新する方法しかなく、調光盤以降の設備について調光操作卓も含め更新工事を実施する(7,500千円)。

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

開館からすでに20年以上経過しており、施設が老朽化してきた。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分もいくつか存在しはじめているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

施設の運用も総合的に勘案しステージ照明用調光操作卓について更新を決定し、ステージ照明用調光操作卓の更新工事を平成25年度に実施した。

## ■ 評価

施設の運用も総合的に勘案しステージ照明用調光操作卓について更新をした。現状の設備を最大限活用できるような更新工事となり、施設利用者に不安なくさらに便利に設備を活用いただける施設維持ができているものと評価している。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	06
事業名	社会体育振興事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	暮らしの中に「体育」を取り入れるよう、「町民と結びついた社会体育」をスローガンに各種講習会や大会などを開催し、町民にスポーツ参加の機会と普及に努めること。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室開催</li> <li>・スポーツ大会開催</li> <li>・体育協会支援</li> <li>・スポーツ少年団支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員事務</li> </ul>
現在における 経過又は課題	<p>子供向けの事業については、総合型地域スポーツクラブであるNPO法人ウィル大口スポーツクラブが実施する事業で補完できている。</p> <p>健康のために運動する方は、多くなっているが、スポーツとなるとまだまだ少なく、大人向けのスポーツ教室を実施しているが、ニーズに合わず、なかなか参加者が増えない。</p> <p>団体支援では、自分たちだけの活動が中心のため、多くの人を巻き込める事業を増やしていきたい。</p> <p>平成24年度は体育協会の全面的な協力により町制施行50周年記念事業としてグラウンド・ゴルフ大会を実施することができた。25年度以降も体育協会の主催事業として実施していくこととなった。</p>		
平成25年度の 目標又は 改善策	<p>子供むけの事業については、現状どおりウィル大口スポーツクラブと協働で事業を進めていく。さらに大人の事業についても同様の取り組みを実施していく。</p> <p>教室では、スポーツ推進委員を中心にターゲットを絞った教室を計画をしていく。また、行政やNPO団体の教室を把握し、連携の取れた教室の実施を進める。</p> <p>団体支援では、自分たちの視点で団体を見直し、自らが中心となる団体として支援する。</p> <p>平成25年度は体育協会の創立50周年記念となり、記念事業が実施される。町として金銭面も含め支援していく。</p>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	各団体補助金交付決定 事業の展開支援（4月～3月）
9	地区別ソフトボール大会開催
10	町民体育祭開催
12	愛知駅伝参加
3	桜並木健康ジョギング開催 ・スポーツ推進委員会議は毎月1回開催 ・スポーツ教室は年度当初に企画し、夏以降に開催

## □3年間の目標

目標						
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	・ ・
H27 年度	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	9,057	10,581	11,314
(内特定財源)		千円	472	965	408
人工	職員	人工	0.8	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	1.0	0.8	0.8

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
学校開放施設使用料	398	
スポーツ教室受講料	10	
合計	408	

## ■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
体育協会50周年記念事業(19負担金)	360	360	体育協会50周年記念事業の実施に対する負担金
体育協会(19補助金)	4,060	460	グラウンド・ゴルフ大会等体育協会主催事業が増加し、人件費等が必要となるため、補助金を増額するもの

## ■特記事項

これまで町が単独で主催してきた事業を、体育協会と共催で実施するようになった事業やこれまで町職員の協力で実施してきた事業を体育協会の協会の協力により実施するなど、体育協会が独立して活躍する場が非常に多くなっている。また平成25年度には、24年度に町制50周年記念事業として実施した、グラウンド・ゴルフ大会も協会主催事業として実施される予定である。体育協会創立50周年記念事業に対して町からも負担金を出すこととした(360千円)。また、協会の自主事業が増加することに伴い人件費が増えこれまでの補助額では、不足することとなってきていることを踏まえ平成25年度において補助金を増額することとした(460千円増)。



## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

健康のために運動する方は、多くなっているが、スポーツとなるとまだまだ少なく、大人向けのスポーツ教室を実施しているが、なかなか参加者が増えない。教室では、スポーツ推進委員を中心にターゲットを絞った教室を計画した。また、行政やNPO団体の教室を把握し、連携の取れた教室の実施に努めた。

## ■ 評価

子供むけの事業については、ウィル大口スポーツクラブにより事業が進められており、多くの参加者からも好評価をいただいている。

教室では、スポーツ推進委員が中心となって教室を計画をし実施しているが、まだまだ住民のニーズがつかみ切れていないのが現状である。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課	No.	7
事業名	温水プール管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	<p>町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるような施設の一つとして、一年を通して活用できる温水プールを整備することで町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者との協定締結</li> <li>・指定管理者と連携を密にとり施設の管理・運営について、確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理の範囲外の工事等について、検討し実施。</li> </ul>	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営が指定管理者に委ねられたが、開館からすでに30年近く経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しており大規模な修繕が必要な箇所も存在している。</li> <li>・プール施設パイプシャフト内配管が以前からさび等によりひどく劣化している。多くの電気配線が集中し危険でもあることから、改修工事が必要と判断される。</li> </ul>		
平成25年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の管理運営が指定管理者に委ねられていることから、適切な対応がとられているか慎重に見守っていく。</li> <li>・施設については、大規模な改修が必要な箇所について把握し、今後の改修に向けて準備を進めていく。</li> <li>・プール施設パイプシャフト内配管を安全対策及びさび対策も含めプール施設内パイプシャフトから外配管へと改修する。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理年度協定締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

## □3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>						
	項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	41,402	47,367	46,180
(内特定財源)		千円	148	160	148
人工	職員	人工	0.9	0.3	0.3
	臨時職員	人工	0.1	0.0	0.0
	計	人工	1.0	0.3	0.3

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	148	
合計	148	

## ■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
温水プール設備改修工事 (15 工事請負費)	0	△9,096	排水管工事・ガス管工事・空調ダクト補強工事・高窓排気改修工事
温水プール設備改修工事 (15 工事請負費)	8,400	8,400	排水管工事・パイプシャフト内配管及び電気配線改修工事
		△696	

## ■特記事項

平成 24 年度実施したプール内排水管工事を一部延長し、25 年度に実施する。(900 千円)

プール内パイプシャフトに設置されている配管が、プール内の塩素等によりひどくさびが発生し危険な状態となっている。直接利用者危険が及ぶものではないが、多くの電気配線が集中している設備でもあり、早急の対策が必要となっている。さび対策も含め一部の配管をプール内パイプシャフトから外部配管へと改修する。(7,500 千円)

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

施設の管理運営が指定管理者に委ねられたが、開館からすでに30年近く経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在しているが、修繕で対応可能な部分については、積極的に修繕し、改修が必要な場合にもできる限り対応した。

今年度は、さび対策も含め一部の配管をプール内パイプシャフトから外部配管へと改修工事を実施した。平成24年度に引き続きプール内排水管工事を実施した。

## ■ 評価

施設の管理運営については、指定管理者が実施しており、平成24年度の間評価においても概ね適正な管理運営であるとの評価を得た。

施設については、積極的な改修工事及び災害時等への対策も実施し、利用者が安心・安全で快適に利用できるよう施設の維持に努めている。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯教育部 生涯学習課		No. 8
事業名	グラウンド等管理事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	1	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進
目的	町民が安全で快適にスポーツを楽しむことができるよう、また、多種多様なスポーツ種目の要望に応えられるように施設を整備し、町民の体力づくり、健康づくりに努め、スポーツによる明るいまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理以外の設備の維持管理</li> <li>※外注分は協議・契約・履行確認・支払処理</li> <li>・ 消耗品等の補充</li> <li>・ 除草等清掃作業</li> </ul>		
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者制度を導入している施設と町が直接管理・運営している施設があるが、いずれの管理方法においても一長一短があり、今後の施設管理の在り方を検討する必要がある。</li> <li>・ 一部のグラウンド等において雑草等の管理が適正になされていない箇所が見受けられる。費用等の問題もあるが、全ての施設がより適正に管理・運営されるような施設管理の方法を検討していかなければいけない。</li> </ul>		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理運営が指定管理者に委ねられている施設については、適切な対応がとられているか慎重に見守っていく。</li> <li>・ 町が直接管理・運営している施設については、職員自らが施設の維持管理作業も行っているが、利用者の要望に応えられるよう業者委託も活用しつつ、適正に管理・運営していく。</li> <li>・ いずれの施設についてもより経費を抑えつつ、適正な管理ができるような方法の検討を続ける。</li> </ul>		

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>指定管理者制度導入施設の年度協定締結 屋内運動場等の年間保守点検業務等の契約締結</p> <p>年間を通して施設の管理運営が適切に行われているか、指定管理者の動向を慎重に見守っていく。 大規模な修繕が発生した場合は、指定管理者と協議しながら対応していく。</p>

## □3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	.
H27 年度	.

## ■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	46,564	52,733	51,314
(内特定財源)		千円	2,037	1,965	2,375
人工	職員	人工	0.9	0.4	0.3
	臨時職員	人工	0.1	0.0	0.0
	計	人工	1.0	0.4	0.3

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	475	
スポーツ施設使用料(グラウンド)	774	
スポーツ施設使用料(屋内運動場)	490	
特別養護老人ホーム負担金	600	
旧北小学校跡地広場管理協力金	36	
合計	2,375	

## ■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
グラウンド施設改修工事費(15工事請負費)	1,641	906	総合運動場周回側溝浚渫工事。管理棟内エアコン更新工事

## ■特記事項

総合運動場の周回にある側溝について、長年の利用によりグラウンド内の砂等が堆積しており、浚渫を実施する。(1,000千円)

総合運動場管理棟内のエアコン機器が老朽化により故障が続いているため、更新工事を実施する。(640千円)



## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

指定管理者制度を導入している施設と町が直接管理・運営している施設があるが、グラウンド等の体育施設においては、指定管理者制度を積極的に導入することを検討したい。

各施設においては、利用者からの様々な要望の中から総合運動場のグラウンド周りの側溝浚渫工事を実施した。また、総合運動場の管理棟内のエアコン機器の更新工事を実施した。

## ■ 評価

施設の管理運営については、指定管理者が実施しており、平成24年度の間評価においても概ね適正な管理運営であるとの評価を得た。

指定管理者が管理運営している施設においては、積極的な修繕等により利用者が安心・安全に利用できるよう努力されているものと考えている。町が直接管理・運営している施設については、比較的新しい施設であるため、職員自らが施設の維持管理作業も行いつつ、専門的な知識や技術が必要な施設については、より適正な管理委託により利用者の要望に応えられるよう管理運営を行っている。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	生涯学習課	No.	09		
事業名	野外活動施設管理事業				
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む		
	小分類	(1)	個性を伸ばし豊かな人間性を育む学校教育・生涯学習の推進		
目的	町民が自然にふれあいながら規律、協調、友愛の精神を養い、心身ともに健全に、また、より豊かな心を養うことを目的とし、安心して利用できる施設管理を目的とする。				
事務内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備の維持管理</li> <li>※外注分は協議・契約・履行確認</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支払処理</li> <li>・ 消耗品等の補充</li> </ul> </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備の維持管理</li> <li>※外注分は協議・契約・履行確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支払処理</li> <li>・ 消耗品等の補充</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備の維持管理</li> <li>※外注分は協議・契約・履行確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支払処理</li> <li>・ 消耗品等の補充</li> </ul>				
現在における 経過又は課題	<p>平成19年度から、地元住民の有志グループに日常管理を委託してきたが、大きなトラブル等もなく現在も同じグループに日常管理を委託している。</p> <p>開場からすでに30年以上経過しており、施設全体の老朽化は否めない。現状では、施設利用者の要望に応えることができない部分も多々存在している。</p> <p>アスレチック施設については、木製であるので経年劣化が大きく、今後の施設の維持管理方針について引き続き検討していく。</p> <p>キャンプ場の必要性について引き続き検討していく。</p>				
平成25年度の 目標又は 改善策	<p>施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。</p> <p>施設そのもの、特にキャンプ場の存在意義についても今後の検討課題としているが、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、施設の管理・運営をより良い方向に進めていく。</p>				

## ■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	<p>年間を通して行う保守点検等の契約締結 随時、履行確認をしていく。</p> <p>* 突発的な施設の不具合等への対応に努めながら、健全な施設運営を図っていく。</p>

## □3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	6,356	7,859	4,629
(内特定財源)		千円	0	1	1
人工	職員	人工	0.9	0.2	0.2
	臨時職員	人工	0.1		
	計	人工	1.0	0.2	0.2

## ■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
野外活動施設使用料	1	
合計	1	

## ■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
遊具設置工事費(15工事請負費)	0	△3,150	平成23年度中に撤去した遊具の新設を24年度で実施したため、25年度については実施なし。

## ■特記事項

なし

## ■ 目標又は改善策に対する取組内容

アスレチック施設については、木製であるため経年劣化が激しく、平成25年度中には危険な状態となってしまうであろう木製遊具の修繕を実施した。

## ■ 評価

施設の老朽化に対応するため、可能な限り早期の修繕を実施している。また、地元地域からの要望等にも早期の対応に心がけている。

施設そのもの、特にキャンプ場の存在意義についても今後の検討課題としているが、施設利用者や地元地域の意見も踏まえつつ、施設の管理・運営をより良い方向に進めていくものとして、積極的なキャンプ場の利用方法等についても検討中である。